

最高の支援

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

2014/9/14

コロサイの信徒への手紙4章2～4節

目を覚まして感謝を込め、ひたすら祈りなさい。同時にわたしたちのためにも祈ってください。神が御言葉のために門を開いてくださり、わたしたちがキリストの秘められた計画を語る事ができるように。このために、わたしは牢につながれています。わたしがしかるべく語って、この計画を明らかにできるように祈ってください。

人はなぜ祈るのか？

- 目に見えない何か大きな存在がおられると感じているから
 - 日本人は様々なものを祈りの対象としてきた
 - 「鰯の頭も信心から」
- 自分だけの力ではどうにもならないことを何とかしたいから
 - 変えたい現実や叶えたい願い

キリスト教における祈り

- 天地万物を創造された神に向かって祈る
 - やみくもに祈るわけではない
- まことの父に向かって祈る
 - キリストは「天の父」に祈るよう教えられた
 - 私たちを深く愛しておられる父親に祈る
- イエス・キリストの御名によって祈る
 - 「御名」とはその人そのもの
 - 私たちのために死んで下さったイエス・キリストが仲介者となって祈りを届けて下さる

お願いばかりが祈りではない！

神よ、

変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。

変えることのできないものについては、それを受けいれるだけの冷静さを与えたまえ。

そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。

＜ラインハルド・ニーバーの祈り＞

どのように祈るのか

目を覚まして感謝を込め、ひたすら祈りなさい。

◎目を覚まして祈る

- ◎「誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」マルコ14:38

◎感謝を込めて祈る

- ◎感謝のない祈りはない

◎ひたすら祈る

- ◎同じ言葉を繰り返す訳ではないが、あきらめることなく祈り続ける

誰かのために祈る

同時にわたしたちのためにも祈ってください。神が御言葉のために門を開いてくださり、わたしたちがキリストの秘められた計画を語る事ができるように。このために、わたしは牢につながれています。わたしがしかるべく語って、この計画を明らかにできるように祈ってください。

- パウロは、自分たちのために祈って欲しい、と頼んでいる
 - パウロのほどの人でも祈りの助けを必要とした

何のために祈るのか

- 「御言葉のために門を開いてくださ」るように
 - 福音宣教に出て行けるように
 - 牢から出られるように,あるいは健康のために祈って欲しいのではない!
- 「キリストの秘められた計画を語る事ができるように」
 - 「キリストの秘められた計画」とは,神の御子イエス・キリストが人となり,全人類の罪の代わりに十字架で死んで下さったこと。そして,彼を信じるものは神の子とされ,永遠の命を生きる者にされるということ

祈りは最高の支援

- 「何もできない」ということは絶対にない！
 - たとえ全身が動かなくても、心の中で祈ることができる
- 「自分なんかが祈っても効果はないのでは」と思ってはならない
 - 神はどんな小さな祈りでも聞いておられる
- 祈りの力を信じることは、すなわち神を信じること
 - 祈ることで神に栄光をお返しする